

富士町史 上・下巻 正誤表 (行の欄で数字のみは右から)

頁	行	誤	正
上巻・本文	上巻・資料編・五 歴代三役	上巻・資料編・六 歴代村議	上巻・資料編・六 歴代村議
二四二	左から三	東妙寺	妙法寺
二八二	写真	鉄鋪山	金鋪山
四三三	左から四	郡令は	郡令は
五九七	左から七	提出された	収集された
六七二	表最上段	5年比率6年	4年比率5年
七〇七	左から七	重状	軍扶
七七六	左から六	農産漁村に	農山漁村に
八五六	歴代4	森 英光	森永英光
八五七	昭 和 2・7・17	昭 和 2・7・17	昭 和 2・7・27
〃	〃	谷口泰二郎	谷口泰次郎
〃	〃	吉富卯一	吉富卯一
〃	〃	0・4	1・4
八五八	〃	前頁と重複	削除
八五九	〃	大正二・10・12	大正11・10・12
〃	〃	昭 和 22・3・12	昭 和 22・3・12
八六〇	〃	昭 和 34・4・9	昭 和 35・4・9
〃	〃	〃	〃
〃	〃	3・7	1・10
八六一	〃	大正元・10・28	大正元・10・25
八六二	〃	関屋良雄	関屋義雄
八六五	〃	明治44・5・28	明治44・5・26
八六七	〃	柴田恒雄	柴田恒男
八六九	一から十八	前頁に重複	削除
八七〇	七・十一	藤田孫一	藤田孫市
八七一	一・六	江里口義一郎	江里口儀一郎
八七二	一	明治28・4・23	明治31・4・23

頁	行	誤	正
八七四	二	明治25・4・23	江里口儀一郎
八七九	三	明治31・4・23	江里口儀一郎
〃	七	明治37・4・25	明治37・4・25
〃	八	明治34・4・25	明治34・4・25
〃	九	明治37・4・25	明治37・4・25
〃	九	明治48・10・28	明治38・10・28
〃	十	明治40・4・25	明治40・4・25
〃	十一	全	全
〃	十二	大正2・4・25	明治40・4・25
〃	十三	明治40・4・25	明治40・4・25
〃	十四	大正2・4・25	明治40・4・25
〃	十五	明治43・4・25	明治43・4・25
八七九	十六	全	全
〃	十七	大正2・4・25	明治43・4・25
〃	十八	全	全
八八〇	三	重復	削除
〃	左から三	明治2・9・8	明治29・8
八八一	左から四	上熊川	下熊川
八八二	左から三	山口吉太郎	山口由太郎
〃	〃	昭 和 24・4・29	昭 和 26・4・29
八八六	左から五	藤田浅吉	藤田浅吉
八八七	〃	全	全
八八八	九	大正4・4・4	昭和4・4・4
八八九	九	大正4・4・4	昭和4・4・4
八九一	一	昭和4・4・27	昭和8・4・27

頁	行	誤	正
口絵	行	誤	正
三	十一	古川末吉先生 福社へ	古川末由先生 福社へ
七	左から五	「富士町村庁舎」	「富士町村庁舎」
九	左から二	平成十一年 議会の召集	平成八年 議会の召集
十	一	財務係長	財政係長
十一	左から三	教育係	教育係
十二	左から七	学校営普 福議長	学校営繕 副議長
十四	八他	納富伝五	納富傳五
十五	四	四十八年六月	四十八年六月
十六	左から三	五十二年五月	五十六年五月
十七	左から五	吉原満津	吉原満津夫
二十	左から三	松永 真	松永 真
二五	三	藤田浅吉お 建議選挙	藤田浅吉 眞議選挙
二七	三	上段	昭和49・12・24昭和53・12・23
三八	四	反田 寛	友田 寛
三六	八	入会地、 街の湯	分取林、 衛の湯
四六	六	参興	参興
四七	左から五	勢か	せいしか
五四	一	合計 1,435,60	合計 1,463
五七	十一	藤田伝四郎 最高指令部	藤田傳四郎 最高司令部
七六	左から四	山農農業	山村農業
八一	左から八	北山農業協同組合	北山村農業協同組合
九七	三	南山農業協同組合	南山村農業協同組合
一〇〇	一	永富 登	永富 登
一〇三	五他	永富 登	永富 登
一〇五	左から三	「フレアイロツジ古場」	「ふれあいロツジ古場」
一〇九	最終行	「フレアイロツジ古場」	「ふれあいロツジ古場」

頁	行	誤	正
三二六	六他	下合戦	下合瀬
三二七	左から八	三十五年五月二十四日佐賀県 族族生	三十七年五月十六日国 族生
三三三	左から二	泰寄進「分村	泰寄進今村
三三九	左から三	地方裁判官	地方裁判所裁判官
三六七	左から二	明治十四年	明治四十一年
四二八	左から三	東部電力	東邦電力
四四三	九	シタキ切りの山ん口	シタキ切りの山ん口
四六七	五	田の草とりを女性	田の草とりは女性
四九七	一	風呂の残り湯	風呂の残り湯
五二二	左から二	(3)初歩き	削除
五八二	最終行	祝儀の一週間後に： 藁打ちやくわ	藁打ちやくわ入れなどを 削除
五九七	三	入れなどを 行われている手数は	削除
六二九	五	ドロボウが釣多かつた。	行われている手数は ドロボウが多かつた。
六八五	最終行	それ依頼子孫は	それ以来子孫は
六八六	四	トエガモ	トモエガモ
六八六	左から五	ヤマカガシ	削除
六八六	左から四	カラスヘビ	削除
六八六	トカゲ類	石亀	亀類
六八六	フナ	イシガメ	イシガメ
六八六	ハヤ	ギンブナ	ギンブナ
六八六	アブラメ	カワムツ・オイカワ	カワムツ・オイカワ
六八六	ヒカゲノチヨウ	タカハヤ	タカハヤ
六八六	ヒヨウモン	クロヒカゲ	クロヒカゲ
六八六	ウラギン	ミドリヒヨウモン	ミドリヒヨウモン
六八六	ミドリシジミ	ウラギンヒヨウモン	ウラギンヒヨウモン
六八六	カトリトンボ	ルリシジミ	ルリシジミ
六八六	カワトンボ	カトリヤンマ	カトリヤンマ
六八六	ハルゼミ	ニシカワトンボ	ニシカワトンボ
六八六	ハルゼミ	ハルゼミ	ハルゼミ

頁	行	誤	正
一一〇	五	姉川 伝	姉川 傳
一一四	左から三	菜草地	採草地
一一六	左から九	巴として	邑として
一一八	一	表3	表2
一二八	左から五	ついうては	ついでに
一三〇	八	大間	大野
一四一	最終行	山口充之	山口充之
一五七	左から七	育友会	育友会
一五八	一他	乳児健診	乳児検診
一八六	四	上無津呂上二四柱	上無津呂上二五柱
一九八	一他	藤野駐在所	藤瀬駐在所
二〇五	左から七	北山警察官駐在所	北山警察官駐在所
二〇七	左から二	古湯駐在所(北山村)	古湯駐在所(北山村)
二一六	五	スビーカ	スビーカー
二二八	左から三	温泉町立古湯温泉館	富士町立古湯温泉館
二三九	古湯の夜	三番に追加	ここは肥前の奥座敷 ああ夢が降る古湯の夜よ 負担した。
二四一	五	負担した。	負担した。
二五〇	左から十	総師一歌人	総師歌人
二五〇	左から五	照らしたり、	照らしたり、
二五一	四	古湯温泉残した	古湯温泉に残した
二五二	二	詠られた	詠まれた
二五五	二	古湯俳人副田萃泉	古湯の俳人副田萃泉
二五六	四	マッカーサー元帥	マッカーサー元帥
二六二	委員名	江頭 兼	江頭 廉
二六五	七	岩部恒次・吉武基太	岩部恒次・吉武歴基太
二六八	八	うまし	うまし
二七三	左から四	務かたくも	務かたくとも
二八〇	最終行	木村平次	本村平次
二八九	左から二	丸太元親	丸田元親
三〇六	左から六	富士町中に	富士中に
三二六	三	木下 進	木原 進
三二六	三	大字無津呂	大字上無津呂

頁	行	誤	正
六八六	左から三	ニイニイゼミ	ニイニイゼミ
六八七	左から二	ミンミンゼミ	ミンミンゼミ
六八七	一	ウマオイムシ	ウマオイ
六八七	五	コウロギ	コオロギ
六九〇	左から七	ミナミヌマエビ	ミナミヌマエビ
六九〇	左から四	アカタテハ	アカタテハ
六九一	一	アメンボウ	アメンボ
六九三	八	ヤスバカミキリ	足立一夫
六九四	八	キイロジョウカイ	オオミズアオ
七〇二	六	カンタンマダラスズ	ヤハズカミキリ
七〇四	三	これらの総計は「佐賀県林業統計要覧」 (平成十七年)による。	キンイロジョウカイ
七〇五	左から三	白山神社上	カンタン・マダラスズ
七〇五	一	注2「佐賀県植物図録」	削除
七〇六	写真	一・二三二種	下 表
七〇七	写真	キウシュウ コゴメグサ	白山神社上林叢
七〇七	写真	ヒメタタキモ	注2「佐賀県植物目録」
七〇七	八	大スゲ	一・二三二種
七〇七	左から七	(須田)以上	キスゲ
七〇七	二他	樹勢	須田フカミライイトウ ラシ利(四葉)
七〇七	備考	チヤノキ	町内銘木・巨木一覽
七〇七	十五	チヤノキ	枝張り
七〇七	追加	ケンボナシ	チヤノキ
七〇七	十四他	下無津呂 江里口氏宅ケケンボナシ	チヤノキ
七〇七	七	ケンボナシ	ケケンボナシ
七〇七	二	高紋の分校	高校の分校
七〇七	二	墓石山	墓石山
七〇七	三	町内池の	町内池の
七〇七	三	寒冷精雪地	寒冷積雪地

七七八から	頁	正	下巻・想い出 地域のはなし
各地域の地図は国地九(承認番号平11九複第四六九号)			

富士町道路図
 誤(承認番号平11九複第八八号)
 正(承認番号平11九複第四六九号)
 富士町大字図
 誤(承認番号平8九複第四四四号)
 正(承認番号平12九複第一六二号)

〔誤〕 下巻・動植物・七八頁

上無津呂	上流 林道上海段19年度給山山倒植	ダラノキ						
貝野	林道御民田線 28番杭東側	ダラノキ						
大野	金福寺 石垣上 右	イロハモミジ						
下小副川	区有 幹周2.3m No.13581	スギ						
栗並	区有 幹周3.0m No.1310030	エノキ						
大野	区有 幹周2.7m	ケヤキ						
大野	春日神社 夫婦杉 幹周2.65m	スギ						
杉山	岡本清次氏所有?	スギ?						

〔正〕

上無津呂	上流 林道上海段19年度給山山倒植	ハリギク	3.0	22.0	19			
貝野	林道御民田線 28番杭東側	ハリギク	3.7	21.0	27			
大野	金福寺 石垣上 右	イロハモミジ						
下小副川	区有 幹周2.3m No.13581	スギ						
栗並	区有 幹周3.0m No.1310030	エノキ						
大野	区有 幹周2.7m	ケヤキ						
大野	春日神社 夫婦杉 幹周2.65m	スギ						
杉山	岡本清次氏所有?	スギ?						

〔誤〕 下巻・あとがき(富士町史編さん事業費)

富士町史編さん事業予算 (単位千円)

科目	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
報酬	編さん委員	九	二六	三八	二九	四五
	執筆委員		二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
賃金	嘱託		四四	一八六	二〇四	二二〇
	臨時雇用			一〇九	九〇	八七
報償費	執筆委員		九〇	一〇八	一四〇	一八〇
	その他			五	二六	一八
旅費	委員会		一八	二四	一九	二八
	資料収集		二八	九二	七六	三五
	職員					
需要費	消耗品		五七	五〇	三六	一〇
	燃料費				三三	三六
	食糧費		三四	三三	二〇	一〇
印刷製本		五	三	九七	七四	一三
役務費		一五	一五一	二〇四	二三三	二三三
使用料賃借料				三三	三七	三六
備品費		八九	一〇	三九	一〇	
公課費				三八	七	
計	二〇	二八八	五九〇	七四四	九六六	六三三

〔正〕

富士町史編さん事業費 (単位千円)

科目	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
報酬	編さん委員	一九	二八	三九	二九	四五
	執筆委員		二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
賃金	嘱託		四四	一八六	二〇四	二二〇
	臨時雇用			一〇九	九〇	八七
報償費	執筆委員		九〇	一〇八	一四〇	一八〇
	その他			五	二六	一八
旅費	委員会		一八	二四	一九	二八
	資料収集		二八	九二	七六	三五
	職員					
需要費	消耗品		五七	五〇	三六	一〇
	燃料費				三三	三六
	食糧費		三四	三三	二〇	一〇
印刷製本		五	三	九七	七四	一三
役務費		一五	一五一	二〇四	二三三	二三三
使用料賃借料				三三	三七	三六
備品費		八九	一〇	三九	一〇	
公課費				三八	七	
計	二〇	二八八	五九〇	七四四	九六六	六三三

富士町史 上・下巻 正誤表その2

富士町史に、三村合併後の歴代三役(村)長・助役・収入役の名前等が掲載漏れになっていましたので、謹んでお詫び申し上げます。次のおり追加いたします。

〔村町長〕

初代 自昭和三十一年十一月 至昭和三十五年十一月(四年)
 小副川 勇 富士町古湯
 二代 自昭和三十五年十一月 至昭和三十九年十一月(四年)
 中島 繁美 富士町古湯
 三代 自昭和三十九年十一月 至昭和五十一年十一月(十二年)
 吉富 卯一 富士町古湯
 四代 自昭和五十一年十一月 至平成九年六月(二十年七月)
 岩井 長平 富士町中原
 五代 自平成九年六月 至現在
 納富 傳五 富士町下小副川

〔助役〕

初代 自昭和三十一年九月 至昭和三十五年十月(四年)
 中島 繁美 富士町古湯
 二代 自昭和三十六年十月 至昭和四十八年十一月(十二年)
 深川 適二 富士町古湯
 三代 自昭和四十九年二月 至昭和五十七年一月(八年)
 田中 太郎 富士町下小副川
 四代 自昭和五十七年二月 至昭和六十一年二月(四年)
 飯笹 賢 富士町直木
 五代 自昭和六十一年四月 至平成六年四月(八年)
 宮崎 勲 富士町古湯
 六代 自平成六年七月 至現在
 菅浦與四郎 富士町古湯

〔収入役〕

初代 自昭和三十三年四月 至昭和四十九年一月(十六年九月)
 田中 太郎 富士町下小副川
 二代 自昭和四十九年一月 至昭和五十七年一月(八年)
 木下 助市 富士町古湯
 三代 自昭和五十七年二月 至昭和六十年二月(四年)
 山中 重義 富士町古湯
 四代 自昭和六十年二月 至平成六年二月(八年)
 柴田 忠次 富士町大野原
 五代 自平成六年二月 至平成十年二月(四年)
 立石 慶喜 富士町大串
 六代 自平成十年四月 至現在
 田中 博之 富士町内野

下巻・本文(行の欄で数字のみは右から)

頁	行	誤	正
目次十二	左から四	執筆者紹介	執筆委員紹介
三二	三	富士町	富士村
〃	五	七九、九八万二〇〇〇円	七九、九八二、〇〇〇円
〃	〃	八六、七八万四〇〇〇四千元	八六、七八四、〇〇〇円
〃	六	六、八二〇、〇〇〇円	六、八〇二、〇〇〇円
〃	七	六、八五八、〇〇〇円	六、八、五八、〇〇〇円
〃	左から六	三億八九、二六万〇〇〇円	三八九、二六、〇〇〇円
〃	左から五	三、六〇八、〇〇〇円	三、六〇八、〇〇〇円
〃	左から三	三億五六、八七万三〇〇〇円	三五六、八七三、〇〇〇円
三四	三	六〇、〇〇万円	六〇、〇〇〇、〇〇〇円
二二〇	九	山村合併前後	三村合併前後
二二二	三	数点	数店
二二三	左から七	留山	溜山
一七四	左から六	生活様式変の化	生活様式の変化
一八二	七	沖繩	ピルマ
一九七	左から七	連帯せ責任	連帯責任
二〇五	左から三	北山村古湯	北山村古湯
〃	〃	古湯巡査駐在所	古湯巡査駐在所
二九八	左から五	私立古湯幼稚園	私立富士幼稚園
三二六	十三	森 俊治	森 俊二
三四三	左から六	県小中学校校長会長	県退職小中学校校長会長
六八五	二	野鳥調	野鳥
六九〇	一	米田和典	執筆者
七〇三	五	貞松 光男	足立一夫
〃	左から三	三峰	執筆者
七〇四	一他	人口林	山峰
七〇六	左から三	沼地	人工林
七〇七	左から七	コバントンボソウ	池沼
七二四	表列ニ列	カキノキダマシ	コバノ、トンボソウ
〃	〃一八列	シラカシ	チシャノキ
〃	〃二八列	ウラジロガシ	ウラジロガシ
〃	〃二九列	メタセコイヤ	シラカシ
七二五	〃二九列		メタセコイヤ

正誤表(正) 下巻 P.684

●富士町で観察した野鳥のリスト(佐賀野鳥の会 丹野譲作成)

科名	種名
カイツブリ	カイツブリ
サギ	ゴイサギ
	ダイサギ
	チュウサギ
	コサギ
	アオサギ
ガンカモ	オシドリ
	マガモ
	カルガモ
	コガモ
ワシタカ	ミサゴ
	ハチクマ
	トビ
	ハイタカ
	ノスリ
	サシバ
	ハヤブサ
キジ	コジュケイ
	ヤマドリ
	キジ
クイナ	クイナ
	ヒクイナ
チドリ	イカルチドリ
カモメ	ユリカモメ
ハト	キジバト
ホトギス	ホトギス
フクロウ	フクロウ
アマツバメ	アマツバメ
カワセミ	ヤマセミ
	カワセミ
キツツキ	コゲラ
ヒバリ	ヒバリ
ツバメ	ツバメ
	イワツバメ
セキレイ	キセキレイ
	コシアカツバメ
	ハクセキレイ
	セグロセキレイ

科名	種名
	ビンズイ
	タヒバリ
ヒヨドリ	ヒヨドリ
モズ	モズ
カワガラス	カワガラス
ミンサザイ	ミンサザイ
ヒタキ	ノゴマ
	ルリビタキ
	ジョウビタキ
	ノビタキ
	アカハラ
	シロハラ
	マミチャジナイ
	ツグミ
	ヤブサメ
	ウグイス
	セッカ
オオルリ	
エナガ	エナガ
シジュウカラ	ヤマガラ
	シジュウカラ
メジロ	メジロ
ホオジロ	ホオジロ
	カシラダカ
	ミヤマホオジロ
	アオジ
	クロジ
アトリ	アトリ
	カワラヒワ
	ベニマシコ
	イカル
ハタオリドリ	スズメ
カラス	カケス
	カササギ
	ハシボソガラス
	ハシブトガラス

(環境庁自然環境調査室の鳥類コード表に拠る)